

平成19年度

# 富岡市バランスシート

富岡市企画財務部財政課

# 平成19年度 バランスシート

(平成20年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方	貸 方
<p>[資産の部]</p> <p>1. 有形固定資産</p> <p>(1)総務費 <span style="float: right;">3,460,200</span></p> <p>(2)民生費 <span style="float: right;">2,493,528</span></p> <p>(3)衛生費 <span style="float: right;">6,004,893</span></p> <p>(4)労働費 <span style="float: right;">434,023</span></p> <p>(5)農林水産業費 <span style="float: right;">4,542,678</span></p> <p>(6)商工費 <span style="float: right;">654,169</span></p> <p>(7)土木費 <span style="float: right;">21,635,925</span></p> <p>(8)消防費 <span style="float: right;">229,944</span></p> <p>(9)教育費 <span style="float: right;">15,650,884</span></p> <p>(10)その他 <span style="float: right;">30,888</span></p> <p>計 <span style="float: right;">55,137,132</span></p> <p>(うち土地 <span style="float: right;">18,522,991</span>)</p> <p>有形固定資産合計 <span style="float: right;">55,137,132</span></p> <p>2. 投資等</p> <p>(1)投資及び出資金 <span style="float: right;">6,768,160</span></p> <p>(2)貸付金 <span style="float: right;">129,284</span></p> <p>(3)基金</p> <p style="padding-left: 20px;">特定目的基金 <span style="float: right;">2,277,312</span></p> <p style="padding-left: 20px;">土地開発基金 <span style="float: right;">1,262,724</span></p> <p style="padding-left: 20px;">定額運用基金 <span style="float: right;">3,562</span></p> <p style="padding-left: 20px;">基金計 <span style="float: right;">3,543,598</span></p> <p>投資合計 <span style="float: right;">10,441,042</span></p> <p>3. 流動資産</p> <p>(1)現金・預金</p> <p style="padding-left: 20px;">財政調整基金 <span style="float: right;">1,914,248</span></p> <p style="padding-left: 20px;">減債基金 <span style="float: right;">40,758</span></p> <p style="padding-left: 20px;">歳計現金 <span style="float: right;">516,344</span></p> <p style="padding-left: 20px;">現金・預金計 <span style="float: right;">2,471,350</span></p> <p>(2)未収金</p> <p style="padding-left: 20px;">地方税 <span style="float: right;">630,883</span></p> <p style="padding-left: 20px;">その他 <span style="float: right;">145,865</span></p> <p style="padding-left: 20px;">未収金計 <span style="float: right;">776,748</span></p> <p>流動資産合計 <span style="float: right;">3,248,098</span></p> <p>資産合計 <span style="float: right;">68,826,272</span></p>	<p>[負債の部]</p> <p>1. 固定負債</p> <p>(1)地方債 <span style="float: right;">13,808,416</span></p> <p>(2)債務負担行為</p> <p style="padding-left: 20px;">物件の購入等 <span style="float: right;">0</span></p> <p style="padding-left: 20px;">債務保証又は損失補償 <span style="float: right;">0</span></p> <p style="padding-left: 20px;">債務負担行為計 <span style="float: right;">0</span></p> <p>(3)退職給与引当金 <span style="float: right;">3,609,296</span></p> <p>固定負債合計 <span style="float: right;">17,417,712</span></p> <p>2. 流動負債</p> <p>(1)翌年度償還予定額 <span style="float: right;">1,729,935</span></p> <p>(2)翌年度繰上充用金 <span style="float: right;">0</span></p> <p>流動負債合計 <span style="float: right;">1,729,935</span></p> <p>負債合計 <span style="float: right;">19,147,647</span></p> <p>[正味資産の部]</p> <p>1. 国庫支出金 <span style="float: right;">7,542,493</span></p> <p>2. 都道府県支出金 <span style="float: right;">3,912,086</span></p> <p>3. 一般財源等 <span style="float: right;">38,224,046</span></p> <p>正味資産合計 <span style="float: right;">49,678,625</span></p> <p>負債・正味資産合計 <span style="float: right;">68,826,272</span></p>

債務負担行為に関する情報

物件の購入等

7,323 千円

債務保証及び損失補償

1,509,400 千円

利子補給等に係るもの

62,067 千円

# バ ラ ン シ ャ ー ト

(単位:千円)

借 方				貸 方			
[資産の部]	平成19年度末	平成18年度末	増 減	[負債の部]	平成19年度末	平成18年度末	増 減
<b>1.有形固定資産</b>	<b>55,137,132</b>	<b>57,698,545</b>	<b>2,561,413</b>	<b>1. 固定負債</b>	<b>17,417,712</b>	<b>18,570,255</b>	<b>1,152,543</b>
(1)総務費	3,460,200	3,527,509	67,309	(1)地方債	13,808,416	14,755,405	946,989
(2)民生費	2,493,528	2,651,884	158,356	(2)債務負担行為	0	0	0
(3)衛生費	6,004,893	6,407,822	402,929	(3)退職給与引当金	3,609,296	3,814,850	205,554
(4)労働費	434,023	458,253	24,230	<b>2. 流動負債</b>	<b>1,729,935</b>	<b>2,058,818</b>	<b>328,883</b>
(5)農林水産業費	4,542,678	5,038,092	495,414	(1)翌年度償還予定額	1,729,935	2,058,818	328,883
(6)商工費	654,169	699,956	45,787	(2)翌年度繰上充用金	0	0	0
(7)土木費	21,635,925	22,536,923	900,998	<b>負債合計</b>	<b>19,147,647</b>	<b>20,629,073</b>	<b>1,481,426</b>
(8)消防費	229,944	271,504	41,560				
(9)教育費	15,650,884	16,073,418	422,534				
(10)その他	30,888	33,184	2,296				
<b>2. 投資等</b>	<b>10,441,042</b>	<b>10,356,239</b>	<b>84,803</b>				
(1)投資及び出資金	6,768,160	6,481,284	286,876				
(2)貸付金	129,284	158,116	28,832				
(3)基金	3,543,598	3,716,839	173,241				
<b>3. 流動資産</b>	<b>3,248,098</b>	<b>3,197,727</b>	<b>50,371</b>				
(1)現金・預金	2,471,350	2,332,133	139,217	<b>[正味資産の部]</b>	平成19年度末	平成18年度末	増 減
財政調整基金	1,914,248	1,621,933	292,315	<b>1. 国庫支出金</b>	<b>7,542,493</b>	<b>7,811,083</b>	<b>268,590</b>
減債基金	40,758	90,527	49,769	<b>2. 都道府県支出金</b>	<b>3,912,086</b>	<b>4,245,479</b>	<b>333,393</b>
歳計現金	516,344	619,673	103,329	<b>3. 一般財源等</b>	<b>38,224,046</b>	<b>38,566,876</b>	<b>342,830</b>
(2)未収金	776,748	865,594	88,846	<b>正味資産合計</b>	<b>49,678,625</b>	<b>50,623,438</b>	<b>944,813</b>
地方税	630,883	684,261	53,378				
その他	145,865	181,333	35,468				
<b>資産合計</b>	<b>68,826,272</b>	<b>71,252,511</b>	<b>2,426,239</b>	<b>負債・正味資産合計</b>	<b>68,826,272</b>	<b>71,252,511</b>	<b>2,426,239</b>

債務負担行為に関する情報

物件の購入等

7,323

14,646 千円

債務保証及び損失補償

1,509,400

1,669,400 千円

利子補給等に係るもの

62,067

100,383 千円

# 富岡市の資産や負債はどれくらい？

.....バランスシート&行政コスト計算書

富岡市の財政状況を市民に分かりやすく説明するための一助として、資産や負債の状況を取り入れたバランスシートと、一年間の行政サービスに要した費用を明らかにする行政コスト計算書を作成し、公表します。

平成17年度には合併があり、旧市町と新市の決算を統合して計算しましたが、平成18年度は1本の決算となりました。平成19年度は一本化されて2年目の決算となります。それでは、平成19年度のバランスシートと行政コスト計算書がどのようなものなのか、その概略を紹介します。

## バランスシートって何のこと？

バランスシート（貸借対照表）とは、一定の時点において保有するすべての資産、負債等の財政状態を総括的に表した報告書です。自治体のバランスシートの構造は、年度末における市の資産（市民の財産）、負債（将来の世代の負担分）、更にこれらの差額である正味資産（今までの世代による負担部分）から構成されています。民間企業のバランスシートと異なり、「資本」という考えがありません。

なお、このバランスシートは、総務省が示した指針に準拠して市のバランスシートを作成しております。

## 富岡市バランスシート

### 【資産の部】

### 資産総額は、688億円（市民一人当たり129万円）

資産とは、将来にわたり公共サービスを提供できる価値、すなわち次の世代が受けることのできるサービスです。

#### 1 有形固定資産

総資産のうち、約80%（551億円）を占めるのが「有形固定資産」です。

有形固定資産は、富岡市がこれまでに整備してきた道路、公園、学校、体育文化施設などの土地、建物、設備等です。

「決算統計」が現在の様式となった昭和44年度以降に支出した普通建設事業の合計額を取得価格とみなして表示しています。有形固定資産の減価償却は、用途別に設定された耐用年数に基づき、残存価格を「0」とする定額法により計算しています。

有形固定資産の取得価格、減価償却累計額、残存価格（バランスシート計上額）は次のとおりです。

# 有形固定資産明細表

(単位：千円)

	取得価額	減価償却累計額	残存価額
	A	B	A - B
総務費	4,653,374	1,193,174	3,460,200
庁舎等	1,119,273	374,038	745,235
その他	3,534,101	819,136	2,714,965
民生費	4,695,028	2,201,500	2,493,528
保育所	637,274	311,787	325,487
その他	4,057,754	1,889,713	2,168,041
衛生費	11,312,206	5,307,313	6,004,893
清掃費	8,253,450	4,119,519	4,133,931
ごみ処理	7,811,689	3,973,656	3,838,033
し尿処理	58,244	52,057	6,187
その他	383,517	93,806	289,711
環境衛生費	2,432,292	825,497	1,606,795
その他	626,464	362,297	264,167
労働費	1,010,389	576,366	434,023
農林水産業費	19,930,370	15,387,692	4,542,678
造林	88,219	70,046	18,173
林道	2,906,680	2,365,240	541,440
治山	6,167	4,314	1,853
砂防	2,625	1,497	1,128
漁港	0	0	0
農業農村整備	14,863,639	11,282,303	3,581,336
海岸保全	0	0	0
その他	2,063,040	1,664,292	398,748
商工費	1,364,780	710,611	654,169
国立公園等	0	0	69,932
観光	1,280,231	657,962	0
その他	84,549	52,649	31,900
土木費	44,291,343	22,655,418	21,635,925
道路	22,411,592	15,462,004	6,949,588
橋りょう	1,000,706	240,784	759,922
河川	184,359	55,200	129,159
砂防	0	0	0
海岸保全	0	0	0
港湾	0	0	0
都市計画	16,796,143	4,973,524	11,822,619
街路	2,418,270	554,149	1,864,121
都市下水	248,275	243,784	4,491
区画整理	3,632,530	683,010	2,949,520
都市公園	10,341,144	3,344,801	6,996,343
その他	155,924	147,780	8,144
住宅	3,895,394	1,922,410	1,972,984
空港	0	0	0
その他	3,149	1,496	1,653
消防費	1,536,039	1,306,095	229,944
庁舎	0	0	0
その他	1,536,039	1,306,095	229,944
教育費	24,568,653	8,917,769	15,650,884
小学校	7,737,530	3,572,729	4,164,801
中学校	5,382,642	1,959,013	3,423,629
高等学校	0	0	0
幼稚園	276,735	55,067	221,668
特殊学級	0	0	0
大学	0	0	0
各種学級	2,986	895	2,091
社会教育	9,614,527	2,784,748	6,829,779
その他	1,554,233	545,317	1,008,916
その他	153,479	122,591	30,888
合計	113,515,661	58,378,529	55,137,132

また、土地の内訳は次のとおりです。

## 土地明細票

単位:千円

	取得価格
道路橋りょう	4,868,252
街路	1,692,257
公営住宅	313,002
小学校	444,922
中学校	803,261
その他	10,401,297
合 計	18,522,991

## 2 投資等

投資等は、市が活動を行う上で必要な団体への出資金などや特定の目的のために積立している基金で、平成19年度末で約104億円です。

### (1) 投資及び出資金

財団法人や社団法人等への出資残高です。

平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

群馬県農業信用基金協会出資金	5,170
群馬県信用保証協会出えん金	79,835
群馬県労働者信用基金協会出えん金	3,303
富岡市土地開発公社出資金	5,000
富岡市水道事業会計出資金	1,538,686
富岡市ガス事業会計出資金	9,774
群馬県畜産物価格安定基金協会出資金	1,010
群馬県農業後継者育成基金出資金	4,193
群馬県スポーツ振興事業団出えん金	2,517
富岡地域医療事務組合出資金	5,086,956
群馬県農業後継者育成基金出えん金	3,773
森林組作業班員等雇用安定基金出えん金	1,090
群馬県長寿会づくり財団出えん金	1,910
群馬県産業支援機構出えん金	1,524
群馬県養蚕振興基金出えん金	14,272
群馬県消防協会出えん金	5,123
群馬県下水道公社出えん金	1,000
その他(10件)	3,024
合 計	6,768,160

### (2) 貸付金

富岡市が第三者に貸付を行っている金額です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

住宅新築資金等貸付事業貸付金	38,464
「ココン」老人保健施設建設事業資金貸付金	24,000
「東京カリン」工場建設事業資金貸付金	62,500
台風9号災害復旧貸付金	4,320
合 計	129,284

### (3) 基金

特定目的基金

福祉の充実や教育振興といった特定の目的のために、預金や有価証券で積み立てられている金額です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

ふるさと創生事業基金	223,301
新庁舎建設基金	833,411
福祉事業基金	234,204
交通遺児及び労働災害遺児等奨学助成基金	9,250
金庭秀松老人福祉基金	62,680
都市計画事業基金	1,448
上信越自動車道富岡インターチェンジ周辺整備基金	3,692
金庭秀松文庫基金	54,000
国際交流基金	100,000
中山間地域活性化推進基金	20,000
職員退職手当基金	640,419
発明くふうのまちづくり推進基金	16,093
水源かん養基金	26,369
交通安全基金	52,445
合 計	2,277,312

#### 土地開発基金

土地開発のための基金です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

現金	305,989
貸付金	551,452
土地	405,282
合 計	1,262,723

#### 定額運用基金

定額の資金運用を目的とする基金です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

小口生活資金貸付基金	1,000
妙義ふれあいプラザ用品等調達基金	2,562
合 計	3,562

### 3 流動資産

流動資産は将来の資金不足に備えるための「財政調整基金」、地方債の償還に備えるための「減債基金」や市税などの未収金などで、平成19年度末で約32億円です。

#### (1) 現金・預金

##### 財政調整基金

将来の資金不足に備えて、預金や国債等により保有している積立金です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

預金	1,914,248
----	-----------

##### 減債基金

公債費対策のための積立金です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

預金	40,758
----	--------

##### 歳計現金

平成19年度歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額(黒字)を計上しています。

単位:千円

預金	516,344
----	---------

#### (2) 未収金

##### 地方税

年度末までに回収できなかった税金です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

市民税	168,877
固定資産税	299,092
軽自動車税	8,838
特別土地保有税	128,024
都市計画税	25,945
入湯税	107
合 計	630,883

その他

年度末までに回収できなかった分担金、負担金、使用料等です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

分担金及び負担金	10,031
使用料及び手数料	7,517
国庫支出金	55,882
県支出金	12,800
諸収入(都市計画道路整備受託事業収入など)	16,335
市債	43,300
合 計	145,865

## 【負債の部】

負債総額は、191億円（市民一人当たり36万円）

### 1 固定負債

負債とは将来返済すべき債務であり、次の世代が負担する借金です。

#### (1) 地方債

富岡市が発行した地方債のうち、平成21年4月1日以降に返済が予定されている金額です。平成19年度末現在の内訳は次のとおりです。

単位:千円

財政融資資金	6,977,801
総務省郵便貯金資金	316,598
総務省簡易生命保険	1,737,999
公営企業金融公庫	2,219,968
群馬銀行	250,500
しのめ信用金庫	1,867,905
甘楽富岡農業協同組合	1,523,980
市町村振興協会	125,140
群馬県	286,801
群馬県信用組合	231,659
控除：一年以内に返済期限の到来する額	1,729,935
差引：バランスシート計上額	13,808,416

なお、平成20年度以降、5年間の各年度別返済予定額及び返済後の残高は次のとおりです。

単位:千円

	返済予定額	返済後残高
平成20年度	1,729,935	13,808,416
平成21年度	1,736,112	12,072,304
平成22年度	1,692,868	10,379,436
平成23年度	1,605,044	8,774,392
平成24年度	1,377,229	7,397,163

#### (2) 退職給与引当金

年度末に在籍している職員が全員退職すると仮定した場合に支払う退職手当の金額です。ここでは、個々に計算せずに、簡易に「平均経験年数」に「平均給料」及び「支給率」を乗じ、更に「職員数」を乗じて求めております。

### 2 流動負債

流動負債は、平成20年度中に返済の必要のある地方債の元金です。

負債のうち、地方債が固定負債、流動負債と合わせて、約155億円で負債全体の約81%を占めています。道路、学校、市営住宅などの公共住宅を整備する場合は、多額の経費が必要となります。このため、現金で一度に支払いができないものは、地方債を発行することになります。

## 【正味資産の部】

正味資産総額は、498億円（市民一人当たり93万円）

正味資産とは、資産と負債の差額であり、市民の皆さんからいただいた税金や国・県からの補助金で、将来返済を要しないもので、今までの富岡市の資産形成の純額を表します。

### 1 国庫支出金

富岡市が現在保有している資産のうち、国の支出により形成されたものの金額です。

### 2 都道府県支出金

富岡市が現在保有している資産のうち、県の支出により形成されたものの金額です。

### 3 一般財源等

富岡市が現在保有している資産のうち、今まで富岡市民からいただいた税金等により形成されたものの金額です。

## バランスシートで何がわかるの？

・・・バランスシートを活用した財務分析

バランスシートを分析することにより、資産の構成や、将来返済しなければならない負債と返済を要しない正味資産の比率等のストックに関する情報が明らかになります。

また、バランスシートを年度を追って推移を見たり、他の地方公共団体と比較したりすることにより財政状況の特徴や財政運営の傾向を分析することができます。

#### (1) 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本の整備の結果を示す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に今までの世代の負担により形成された社会資本の額をさしていることから、この比率はこれまでの世代によって既に納付された税金等により社会資本が形成された割合を示すものです。この比率が高いほど、将来世代への分が少なく健全であるといえます。

富岡市の場合、社会資本負担比率は、19年度は90.1%で、前年度比較2.4ポイント改善しております。

< 社会資本形成の世代間負担比率 >

単位:千円、%

項目	平成20年3月	平成19年3月	平成18年3月	平成17年3月
有形固定資産残高(a)	55,137,132	57,698,545	60,335,923	50,416,154
正味資産(b)	49,679,063	50,623,438	51,263,038	44,137,697
社会資本負担比率 ( b/a)	90.1	87.7	85.0	87.5

#### (2) 予算額対資産比率

バランスシートの資産合計は富岡市の社会資本の総額を表しますが、この比率は資産合計が富岡市の収入合計の何年分に該当するかを表したものです。この比率が高いほど、既に社会資本整備ができていると考えられます。

富岡市の場合、予算額対資産比率は、19年度は3.86で、前年度比較0.14ポイントマイナスとなっています。

単位:千円、%

項目	平成20年3月	平成19年3月	平成18年3月	平成17年3月
歳入合計(a)	17,833,024	17,834,950	20,886,368	15,539,725
資産合計(b)	68,826,272	71,252,511	710,158,283	63,514,309
予算額対資産比率 ( b/a)	3.86	4.00	3.40	4.09

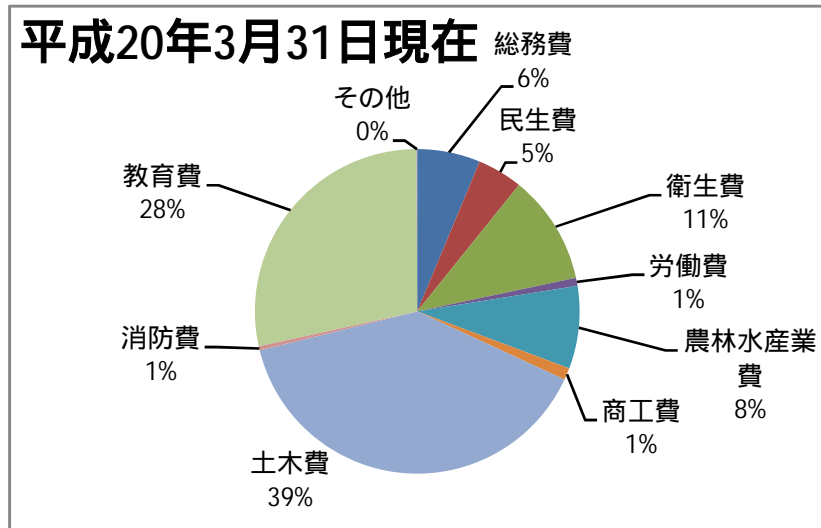
### (3) 有形固定資産の行政目的別割合

有形固定資産の行政目的別割合を見ることにより、行政分野ごとの資産形成の比重を把握することができます。この割合を見ることによって、これまでの富岡市の社会資本形成がどこに重点を置いていたのかが明確になります。

単位:千円

項目	平成20年3月		平成19年3月		平成18年3月	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
総務費	3,460,200	6.3%	3,527,509	6.1%	3,595,939	6.0%
民生費	2,493,528	4.5%	2,651,884	4.6%	2,814,174	4.7%
衛生費	6,004,893	10.9%	6,407,822	11.1%	6,811,536	11.3%
労働費	434,023	0.8%	458,253	0.8%	482,663	0.8%
農林水産業費	4,542,678	8.2%	5,038,092	8.7%	5,559,762	9.2%
商工費	654,169	1.2%	699,956	1.2%	745,883	1.2%
土木費	21,635,925	39.2%	22,536,923	39.1%	23,473,946	38.9%
消防費	229,944	0.4%	271,504	0.5%	318,058	0.5%
教育費	15,650,884	28.4%	16,073,418	27.9%	16,495,949	27.3%
その他	30,888	0.1%	33,184	0.1%	38,013	0.1%
有形固定資産合計	55,137,132	100.0%	57,698,545	100.0%	60,335,923	100.0%

土木費が39.2%を占め、際立った高い比率を占めております。次いで教育費が28.4%を占め、小・中学校等の整備事業費が高い割合を占めています。このことから富岡市の場合、従来から土木関係及び教育関係に対して、重点的に資産形成を行ってきたということが読み取れます。



表示にあたり小数点以下を四捨五入しています。

#### (4) 住民一人あたりのバランスシート

(平成20年3月31日現在、人口:53,405人)

勘定科目[資産の部]	一人当たり金額(円)	勘定科目[負債の部]	一人当たり金額(円)
1.有形固定資産		1.固定負債	
(1)総務費	64,792	(1)地方債	258,560
(2)民生費	46,691	(2)債務負担行為	
(3)衛生費	112,441	物件の購入等	
(4)労働費	8,127	債務保証又は損失補償	
(5)農林水産業費	85,061	(3)退職給与引当金	67,584
(6)商工費	12,249		
(7)土木費	405,129		
(8)消防費	4,306		
(9)教育費	293,060		
(10)その他	578		
有形固定資産合計	1,032,434	固定負債合計	326,144
2.投資等		2.流動負債	
(1)投資及び出資金	126,733	(1)翌年度償還予定額	32,393
(2)貸付金	2,421	(2)翌年度繰上充用金	
(3)基金		流動負債合計	32,393
特定目的基金	42,642		
土地開発基金	23,644		
定額運用基金	67		
基金計	66,353		
投資合計	195,507	負債合計	358,537
3.流動資産		[正味資産の部]	
(1)現金・預金		1.国庫支出金	141,232
財政調整基金	35,844	2.都道府県支出金	73,253
減債基金	763	3.一般財源等	715,739
歳計現金	9,668		
現金・預金計	46,276		
(2)未収金			
地方税	11,813		
その他	2,731		
未収金計	14,544		
流動資産合計	60,820	正味資産合計	930,224
資産合計	1,288,761	負債正味資産合計	1,288,761

富岡市の住民一人あたりの資産は1,288,761円、負債は358,537円、資産から負債を差し引いた正味資産は930,224円になりました。

通常のバランスシートでは、自治体の人口規模等により単純には比較できませんが、バランスシートの各項目の数値を住民一人当たりで算出することにより、自治体間の単純な比較ができます。

#### 住民一人あたりのバランスシート

住民一人あたりの将来的な財政負担を計算してみました。

一人あたりの将来負担額 = ((地方債残高 + 債務負担行為)

- (財政調整基金 + 減債基金 + 歳計現金)) / 人口 = 212千円

平成19年度末では、一人あたりの将来負担額は212千円ということになります。

(平成18年度末では、262千円)

住民一人あたりの社会資本形成を計算してみました。

一人あたりの社会資本形成 = 有形固定資産合計 / 人口 = 1,032千円

平成19年度末では、一人あたり1,032千円ということになります。

(平成18年度末では、1,065千円)

## ( 5 ) 企業財務分析指標を用いた分析

正味資産構成比率、流動比率、固定比率について分析しました。

### 正味資産構成比率

企業の財務分析において、財務の安定化を計る指標として注目される「自己資本比率」について「正味資産構成比率」の名称で算出しました。これは富岡市にストックされた総資本うち、返済義務を負わない資金がどれくらいの割合であるかを見るものです。

$$\text{正味資産構成比率} = \text{正味資産} \div \text{総資産} \times 100 = 72.2\%$$

正味資産には、純粋に市自前の資金である一般財源のほか、国及び県からの補助金等が含まれていることに留意が必要です。

この正味資産比率は、高い比率ほど財政状態が健全であるといえます。

(平成18年度末が71.0%ですから、若干上昇していることがわかります。)

### 流動比率

企業において資金繰りの安定性を計る指標として「流動比率」があります。これは、短期の負債(流動負債)に対して、現金などの手元の資金(流動資産)がどのくらいあるかを見るものです。地方公共団体の場合では、翌年度の地方債の償還及び債務負担の支払額に対し、現金や換金可能な基金が用意されているかというものです。

$$\text{流動比率} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 = 187.8\%$$

(平成18年度末が155.3%ですから、上昇していることがわかります。)

富岡市においては、今後の事業展開を考慮すると、換金可能な基金等の資金を取り崩さないよう長期の資金計画(財政運営)を立てることが必要であります。

### 固定比率

固定比率は、「有形固定資産に対し、将来に返済義務を負わない資金をどのくらい充当したか」の割合を見るもので、

$$\text{固定比率} = \text{有形固定資産} \div \text{正味資産} \times 100 = 110.9\%$$

正味資産が有形固定資産を上回っている場合は、100%を切ることとなり、低いほどこれまで建設されてきた資産に対する後世代の負担が少ないといえます。

富岡市では、平成18年度が113.9%ですので、負担減の傾向となっています。

## 富岡市行政コスト計算書

### 【行政コスト】

	(単位:千円)	(構成比)
1 人にかかるコスト		
(1)人件費	3,694,279	21.5 %
(2)退職給与引当金繰入等	102,666	0.6 %
小計	3,796,945	22.1 %
2 物にかかるコスト		
(1)物件費	2,819,984	16.4 %
(2)維持補修費	232,378	1.4 %
(3)減価償却費	2,540,706	14.8 %
小計	5,593,068	32.5 %
3 移転支的なコスト		
(1)物件費	2,506,583	14.6 %
(2)維持補修費	2,020,531	11.8 %
(3)繰出金	1,592,669	9.3 %
(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	1,038,402	6.0 %
小計	7,158,185	41.7 %
4 その他にかかるコスト		
(1)災害復旧事業	171,145	1.0 %
(2)公債費(利子分のみ)	331,741	1.9 %
(3)不納欠損額	133,014	0.8 %
小計	635,900	3.7 %
合計 (a)	17,184,098	100.0 %

### 【収入科目】

	(コスト計に対する比率)
1 使用料・手数料等 (b)	1,830,401      10.7 %
2 国庫(県)支出金 (c)	2,398,136      14.0 %
3 一般財源 (d)	12,219,073      71.1 %
4 収入項目合計 (e)	16,447,610      95.8 %
正味資産国庫(県)支出金償却額(f)	393,658
5 差引 (e) - (a) + (f)	
一般財源等増減額	-342,830

単位未満四捨五入のため計のあわないところがあります。

## 富岡市行政コスト計算書ってなに？

バランスシートは、地方公共団体の資産、負債等の状況を明らかにするものですが、地方公共団体の行政活動は、人的サービスや給付サービスなど、資産形成につながらない当該年度の行政サービスが大きな比重を占めています。

そこで、地方公共団体の全活動を総合的にわかりやすく説明する観点等から、資産形成につながらない当該年度の行政サービスの提供状況を説明する手段として「行政コスト計算書」を試算しました。

「行政コスト計算書」とは、民間企業の「損益計算書」に当たります。損益計算書は企業の損失と利益を計上して1年間の儲けを算出することが目的です。しかし、市では儲けを目的としていないため、市が1年間に提供した行政サービスに要した費用（＝行政コスト）と、税金や手数料などの収入（＝収入項目）を明らかにし、行政活動の効率性を検討する目的で、行政コスト計算書を作成しております。

ここでいう行政コストとは、バランスシートに計上される費用を除いた現金支出に、減価償却や不納欠損など現金支出を伴わない費用を足し合わせた、資産形成につながらない費用のことです。本市の行政コスト計算書はバランスシートと同様、普通会計を対象に作成しており、総務省方式の作成方式を参考にしています。

## 行政コスト計算書で何がわかるの？

富岡市の平成19年度の行政コストは約171億8,409万円です。これを賄う収入合計が164億4,761万円だったということです。

これを市民一人当たりで考えれば、1人につき約32万1千円の行政コストを要したということ。言い換えれば、市民1人が1年間に約32万1千円の行政サービスを受けたということです。

これを性質別に見てみると、移転支出的なコストが全体の41.7%を占めており、次いで、物にかかるコストが32.5%、人にかかるコストが22.1%、その他のコストが3.7%となっています。

次に、目的別で見ると、民生費が全体の28.8%、教育費が15.5%、総務費が14.2%、土木費が12.0%と続いています。

行政コスト計算書は、資産形成以外にどれくらいサービスを提供したかを表しています。

例えば、バランスシートでの有形固定資産では民生費の構成比は4.5%ですが、行政コスト計算書では、28.8%のコストを使っています。

このことは、民生費は資産の形成ではなく、障害者・高齢者・保育所などに消費するコストが多いということが読み取れます。

また、収入項目では、約32万1千円の行政コストのうち、約10.7%に当たる3万4,200円は使用料・手数料等として市民の皆さんに負担していただいております。約14%の4万4,800円は、国庫(県)支出金で賄っているということが分かります。残りは、市税や地方交付税などの一般財源で賄っていることとなります。

このように、バランスシートに計上されない費用が1年間にどれだけかかり、それに必要な財源をどのように調達しているかを行政コスト計算書から読み取ることができ、財政運営の効率性に役立てることができます。

## 行政コストは歳入歳出決算の歳出とどう違うの？

行政コスト計算書では、土地や建物の購入費など資産形成につながる支出はコストから除く反面、建物の減価償却費などもコストとして計上します。

例えば、体育館や保育所などの施設建設費は、歳入歳出決算では、建設費として支出された年度の決算額となりますが、行政コストでは、建設費支出年度ではなく、その施設を使うであろう年数（耐用年数）に応じた減価償却費が各年度に計上されます。

また、行政コストの人件費では、職員に支払う給与等だけでなく、職員が1年勤続したことによる退職給与引当金（全職員が年度末に退職すると仮定した場合の退職金総額）の増額分も含まれています。

このように、年度ごとの現金の支出にとらわれることなく、経費として計上するのに妥当な金額を計算することによって、行政サービスのコストとして把握することができ、行政評価に役立つとされています。

## おわりに

富岡市では、財政状況を広くわかりやすく公表する手段として、「バランスシート」や「行政コスト計算書」を作成しています。

作成した「バランスシート」や「行政コスト計算書」を活用した分析を行うことは、まだまだ不十分ではありますが、他の地方公共団体と比較しながら、健全な財政運営のための指標として、積極的に活用していきたいと考えています。

行政目的(セグメント)別行政コスト計算書

自 平成19年 4月 1日

至 平成20年 3月31日

【行政コスト】

		総額	(構成比率)	議会費	総務費	民生費	衛生費
1 人にかかるコスト	(1)人件費	3,694,279	21.5%	205,180	1,387,904	507,683	273,790
	(2)退職給与引当金繰入等	102,666	0.6%	5,702	38,571	14,109	7,609
	小計	3,796,945	22.1%	210,882	1,426,475	521,792	281,399
2 物にかかるコスト	(1)物件費	2,819,984	16.4%	6,403	568,276	397,936	624,916
	(2)維持補修費	232,378	1.4%		10,007	7,371	103,401
	(3)減価償却費	2,540,706	14.8%		67,309	158,356	402,929
	(4)その他	0	0.0%				
	小計	5,593,068	32.5%	6,403	645,592	563,663	1,131,246
3 移転支出的なコスト	(1)扶助費	2,506,583	14.6%			2,487,379	
	(2)補助費等	2,020,531	11.8%	3,361	300,948	189,728	436,730
	(3)繰出金	1,592,669	9.3%			1,180,668	32,039
	(4)普通建設事業費 (他団体等への補助金等)	1,038,402	6.0%		66,913	3,233	18,925
	小計	7,158,185	41.7%	3,361	367,861	3,861,008	487,694
4 その他にかかるコスト	(1)災害復旧事業費	171,145	1.0%				
	(2)失業対策事業費	0	0.0%				
	(3)公債費(利子分のみ)	331,741	1.9%				
	(4)債務負担行為繰入	0	0.0%				
	(5)不納欠損額	133,014	0.8%				
	小計	635,900	3.7%	0	0	0	0
行政コスト(a)		17,184,098		220,646	2,439,928	4,946,463	1,900,339
(構成比率)				1.3%	14.2%	28.8%	11.1%

【収入項目】

1 使用料・手数料等 (b)	1,830,401			201,754	664,241	196,390
(b/a)	10.7%		0.0%	8.3%	13.4%	10.3%
2 国庫(県)支出金 (c)	2,398,136			265,121	1,625,168	52,728
(c/a)	14.0%			10.9%	32.9%	2.8%
3 一般財源等 (d)	12,219,073					
(d/a)	71.1%					
収入(b+c+d) (e)	16,447,610					
4 正味資産国庫(県)支出金償却額 (f)	393,658					
5 期首一般財源等	38,566,876					
差引(e-a+f) 一般財源等増減額	-342,830					
6 期末一般財源等	38,224,046					

(単位:千円)

労働費	農林水産費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	諸支出金	不納欠損額
9,584	194,338	91,095	252,513	31,471	740,721				
266	5,401	2,532	7,017	875	20,585				
9,850	199,739	93,627	259,530	32,346	761,306			0	
11,536	39,850	58,735	63,966	11,617	1,036,749				
100	6,875	4,024	33,334	1,749	65,517				
24,230	495,114	45,480	880,898	41,560	422,534			2,296	
35,866	541,839	108,239	978,198	54,926	1,524,800		0	2,296	
					19,204				
4,107	107,662	61,051	45,213	810,165	61,566			0	
	51,073		328,889						
	190,480	8,630	448,859	2,624	298,738				
4,107	349,215	69,681	822,961	812,789	379,508	0		0	
						171,145			
							331,741		
									133,014
0	0	0	0	0	0	171,145	331,741		133,014
49,823	1,090,793	271,547	2,060,689	900,061	2,665,614	171,145	331,741	2,296	133,014
0.3%	6.3%	1.6%	12.0%	5.2%	15.5%	1.0%	1.9%	0.0%	0.8%

120,982	28,445	140,027	82,766	6,885	307,566	2,030	79,315	0	
242.8%	2.6%	51.6%	4.0%	0.8%	11.5%	1.2%	23.9%	0.0%	
0	134,650	2,616	94,249	0	149,385	74,219			
0.0%	12.3%	1.0%	4.6%	0.0%	5.6%	43.4%			

「一般財源」… 地方税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金、国有提供施設等所在市助成交付金

「使用料・手数料等」… 分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金、諸収入